

武庫庄



令和6年9月30日

〇〇の秋といえば・・・

朝夕の風に、少しずつですが秋の気配を感じる頃となりました。

今年は残暑がとりわけ厳しく、暑さ指数の高い日が多くなっており、熱中症対策のため、子どもたちの外遊びの回数も少なくなっています。涼しさの実感できる秋本番が待ち遠しい日々です。

さて、いよいよ一年間の折り返し地点を迎えました。

秋という季節は、「〇〇の秋」と言われる言葉がたくさんあります。

「実りの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」などです。

一年のうちでたくさんのことが充実する時期に、子どもたちにはしっかりと成長してもらいたいと願っています。確かな力を付けることができるよう教職員は、日々の授業はもちろんのこと学校生活全般に力を注いでいきたいと思えます。

ご家庭でのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【学力向上担当より】

令和6年4月に全国の小6と中3を対象とした「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

本校の結果等について、報告します。

	国語	算数
本校 平均正答率	74	69
全国 平均正答率	68	64
平均正答率の差	+6	+5

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

武庫庄小6年生は、調査のあった国語(左)、算数(右)の2教科ともに、全国の平均を上回る結果でした。

2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

全体的に全国平均や県平均を上回っており、選択肢があるものにおいては特に正答率が高いのですが、条件のある文(資料や図、情報を活用する、字数の制限がある、キーワードを使用するなど)を書いたり、自分の考えが伝わるように自分で文章を構成したりする力に課題が見られました。そこで本校では、【条件を満たしながら自分の考えを豊かに表現する取り組み】を進めてまいります。具体的には、資料から得た情報を適切に関連付けながら、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように文章を組み立てる活動を日常的に取り入れていきます。

〈算数〉

全体的に全国平均や県平均を上回っていますが、展開図、体積など、図形に関する正答率に課題が見られました。また、選択肢があるものは正答率が高いのですが、式の意味や、なぜそうなるかの過程を説明する力には課題が見られました。そこで本校では、【わかりやすく話す、書く力を高める取り組み】を進めてまいります。算数科の授業においては、解答を出すだけでなく、そこにたどり着くまでの過程を説明させることを日常的に取り入れます。また、あらゆる教科の学習の中で、自分の考えを、理由や根拠を交えて人に分かりやすく伝える経験を積み重ねていきます。

〈全体的に〉

国語、算数とも無回答が少なく、問題に挑戦しようとしている様子や、最後まで問題に取り組み、自分なりの解答を記入しようとしている様子が伺えました。児童の生活に関する質問紙の結果からは、読書が好きであることや、学校の授業以外で学習に充てている時間が全国平均と比較して多いことがわかりました。

しかし、学習に対する意欲や、学ぶ楽しさを実感できていない児童の割合が平均と比較して低く、進んで問題解決に取り組んだり人を助けたりする【主体性】にも課題が見られました。また、インターネットで動画視聴やゲーム、SNS をしている時間も多いため、対面でのコミュニケーションの機会や時間が少ないのではないかと考えられます。

よって、児童が学ぶ楽しさを感じながら学ぶ意欲を高め、学習や生活の中で様々な形で【人と関わり合う力】を伸長させていける取り組みを進めていきます。何事も人任せにせず、自分の考えをしっかりと持ち、友達と互いの考えを伝え合いながら試行錯誤を繰り返し、問題解決に向けて取り組んでいく、【学び合える集団づくり】を学校全体で目指していきます。